

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公表番号】特表2016-513607(P2016-513607A)
 【公表日】平成28年5月16日(2016.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報2016-029
 【出願番号】特願2016-503132(P2016-503132)
 【国際特許分類】

B 6 7 D 1/08 (2006.01)

F 2 5 D 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 7 D 1/08 Z

F 2 5 D 11/00 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

飲料ディスペンサ装置(1201)であって、ハウジング(110)と、前記ハウジング(110)内に配置され、濃縮飲料をポンプで送り出すように構成されている複数の濃縮物ポンプ(305)と、前記ハウジング(110)内に配置され、濃縮香味料をポンプで送り出すように構成されている複数の香味料ポンプ(321)と、前記ハウジング(110)内に配置され、炭酸ガスを供給するように構成されている炭酸ガス供給源(356)と、前記ハウジング(110)内に配置され、前記炭酸ガス供給源(356)から前記炭酸ガスを受け取って炭酸水を生成するように動作する冷蔵カーボネータ(360)であって、外側絶縁ジャケット(391)と、前記外側絶縁ジャケット(391)の内側の同心円状の真水貯蔵槽(355)と、前記真水貯蔵槽(355)の内側の同心円状の炭酸水貯蔵槽(395)とを有し、前記炭酸水を供給するように構成されている、冷蔵カーボネータ(360)と、前記濃縮ポンプ(305)、前記香味料ポンプ(321)、および前記冷蔵カーボネータ(360)から受け取った流体ストリームを混合するように構成されている分配ノズル(2000)と、を備える、飲料ディスペンサ装置(1201)。

【請求項2】

前記炭酸ガス供給源(356)と連通し、前記炭酸ガス供給源(356)内の炭酸ガスの存在を検出するように構成されているタンクセンサ(1015)と、

前記炭酸ガス供給源(356)の下流にある圧力調整器(341B)と、をさらに備える、請求項1に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項3】

前記炭酸ガス供給源(356)を前記飲料ディスペンサ装置(1201)に対して接続・遮断するように構成されている迅速遮断メカニズム(351)をさらに備える、請求項

1 に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 4】

前記迅速遮断メカニズム(351)内に配置され、前記飲料ディスペンサ装置(1201)内の過度の圧力を阻止する絞りメカニズム(352)をさらに備える、請求項3に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 5】

前記冷蔵カーボネータ(360)が、タンクヘッド(3000)を含む、請求項1に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 6】

前記外側絶縁ジャケット(391)が、部分的に円筒の形状を有し、かつ、アクリルの外層と、絶縁材料の内層とからなる、請求項5に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 7】

前記冷蔵カーボネータ(360)が、炭酸水再循環ループ(20)を有し、前記炭酸水再循環ループ(20)は、前記冷蔵カーボネータ(360)の下部から炭酸水を引き出す前記タンクヘッド(3000)における再循環浸漬管(367)から、再循環調整器(341)、再循環ポンプ(331)へと延在し、水注入口浸漬管(366)を通じて戻る、請求項5に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 8】

前記水注入口浸漬管(366)が、攪拌を増大するために前記水を加速するように構成されたノズルを含む、請求項7に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 9】

前記冷蔵カーボネータが、前記炭酸水貯蔵槽(395)内に形成されたアイスバンク(385)を含む、請求項5に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 10】

前記炭酸水貯蔵槽(395)が、前記外側絶縁ジャケット(391)内に配置されており、前記外側絶縁ジャケット(391)との間に前記真水貯蔵槽(355)を画成している、請求項9に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 11】

前記炭酸水貯蔵槽(395)が、その内部で水と炭酸ガスとを混合するための加圧タンクである、請求項9に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 12】

前記真水貯蔵槽(355)が、前記炭酸水貯蔵槽(395)を取り囲み、前記真水貯蔵槽(355)が、水流入口(50)、三方弁(341A)、および充填ポンプ(325)を介して水注入口(2)と連通する、請求項9に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 13】

前記水流入口(50)が、前記外側絶縁ジャケット(391)を通じて前記真水貯蔵槽(355)の下部へと延在し、

前記水流入口(50)が、前記真水貯蔵槽(355)内の前記水の循環を促進するための角度がついた穴であって、前記真水貯蔵槽(355)内で前記アイスバンク(385)が不均一に形成されるのを防ぐ穴を含む、請求項12に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 14】

前記冷蔵カーボネータ(360)が、前記炭酸水貯蔵槽(395)に真水を供給するための、前記タンクヘッド(3000)における水流入口(364)を含み、

前記水流入口(364)が、前記冷蔵カーボネータ(360)を通じて前記炭酸水貯蔵槽(395)内へと延在し、

前記水流入口(364)が、前記炭酸水貯蔵槽(395)内で攪拌を増大するために前記水を加速するように構成された水ノズルを含む、請求項12に記載の飲料ディスペンサ装置。

【請求項 15】

前記冷蔵カーボネータ(360)が、前記真水貯蔵槽(355)および前記炭酸水貯蔵槽(395)内に配置された複数の濃縮物コイルを含み、内部で濃縮飲料を冷却する、請求項9に記載の飲料ディスペンサ装置。